

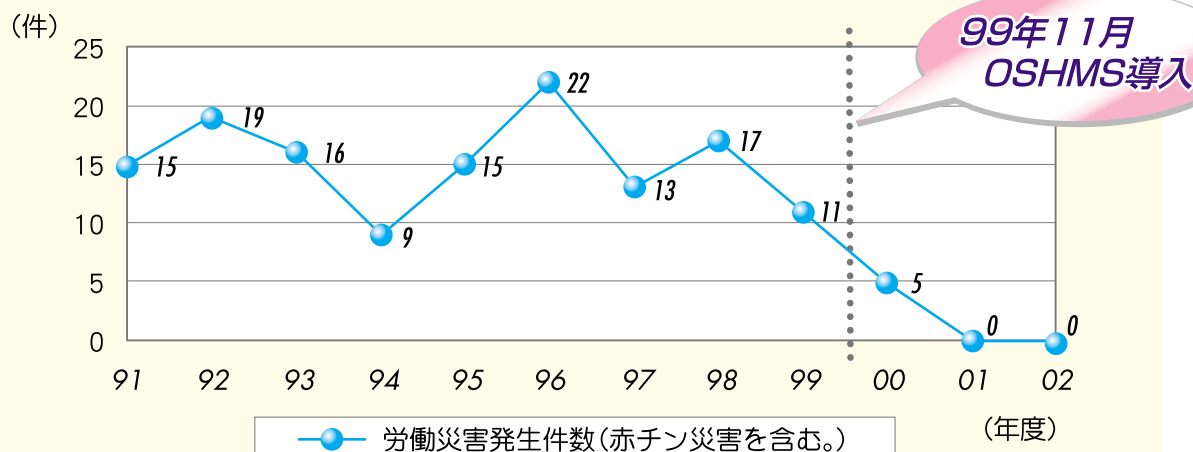
災害の減少

(事例：三洋電機株式会社食品システム事業部)

労働災害がゼロに!!

三洋電機(株)食品システム事業部における、OSHMSを導入する前の過去10年間の労働災害の発生状況は、全労働災害(赤チン災害を含む。)で年間10~20件の間を推移してきました。この間、様々な活動努力を試みましたが、なかなか減少しませんでした。

そこで、設備機械、作業、人の3つをマネジメントするシステムが必要と考え、1999年11月に独自のOSHMS『SSS2000』の導入に踏み切り、導入直後の2000年度には労働災害が半減、2001年度からは赤チン災害をも含めた労働災害がゼロになりました。



【図4 労働災害発生件数の推移】

リスクアセスメントの手法

リスクアセスメントは、従業員の一人ひとりに実行してもらうことを考慮して、なるべく単純化して分かりやすい方式で取り組みました。

評価項目は、「ケガの可能性」、「ケガのひどさ」、「危険の範囲に入る頻度」の3つとして、それらをたし算して評価点を算出し、リスクレベルは5段階としました。そして、対策を実施する際には、すべてのリスクを少なくとも1ランク安全な方に移行させることに重点を置き、取り組みました。

【表2 リスクの判定基準】

ケガの可能性	ウエイト	ケガのひどさ	ウエイト	危険の頻度	ウエイト
ほとんどない	1	軽 傷	1	めったにない	1
可能性がある	2	ひどいケガ	3	ときどき	2
可能性が高い	4	重 傷	6	頻 繁	4
確実である	6	致命傷	10		

「ケガの可能性」+「ケガのひどさ」+「危険の範囲に入る頻度」=リスクレベル

【表3 リスクレベルの評価】

評価点	リスクレベル
1 ~ 3	A: 些細なリスク
4 ~ 7	B: 許容されるリスク
8 ~ 10	C: 中程度のリスク
11 ~ 13	D: 重大なリスク
14 ~ 20	E: 耐えられないリスク